

事務事業名		特別養護老人ホームえがの里既存空調・給湯設備更新事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	高齢者福祉G	課長名	糸原 幸子
	施策名	(22)高齢者福祉の充実		担当者名	田中 秀信	電話番号	0854-40-1042
	目的	対象	意図	予算科目		(内線)	2151
	目的	対象	意図	011502	053515	大事業名	老人福祉施設管理事業
		65歳以上の市民	生きがいを持って、いきいきと暮らす。			中事業名	老人福祉施設修繕事業
		65歳以上の市民	介護予防をする。介護サービスを受ける。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (26 年度～ 28 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
【26年度】 2,052千円 ・既存施設空調・給湯設備更新工事実施設計業務委託	
【27年度】 実施無し	
【28年度】 89,581千円 ・既存空調・給湯設備更新工事 ・設計監理業務委託 ・厨房設備備品更新	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動						
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・既存空調・給湯設備更新工事 ・設計監理業務の委託 ・厨房備品更新		29年度計画(29年度に計画する主な活動) 建物本体部分の大規模修繕は行わない				
	② 活動指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	市内の特別養護老人ホームの施設数	施設		6	6	6	
イ	市が所有する特養の数	施設		1	1	1	
ウ	市が設備修繕を行った特養の数	施設		1	0	1	
エ							

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	えがの里入所者		ア	えがの里入所者数	人	50	70	70	
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
入所者が安定したサービスを受けながら安心して生活できる		ア	当該修繕により安心して施設を利用できる見込み期間	年	0	0	15		
		イ							
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
・設計監理業務委託 2,138千円 ・建築主体工事 5,809千円 ・電気設備工事 14,452千円 ・機械設備工事 61,020千円 ・厨房機器備品購入 6,162千円 ※同一中事業(老人福祉施設修繕事業)のその他修繕等については、別にシートを作成。 6,179千円		事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
			県支出金	千円				
			地方債	千円			23,500	
			その他	千円			66,056	
			一般財源	千円	2,052	0	25	
			事業費計(A)	千円	2,052		89,581	
		人件費	正規職員従事人数	人	4		5	
			延べ業務時間	時間	150		900	
			人件費計(B)	千円	583		3,570	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	2,635		93,151	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H11年に建設された本施設は、H16年に増床。さらにH26年に増床を行い、現在は定員70床となっている。施設は開設以降10年以上経過し、建物や設備の修繕の必要が増えてきている。	既存施設は平成11年の施工であり、給湯設備・空調設備共に老朽化、H26年度実施設計を行い、本年度着工した。	施設より、様々な箇所の改修が必要な旨相談を受けている。

事務事業名	特別養護老人ホームえがおの里既存空調・給湯設備 更新事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	---------------------------------	-----	-------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	平成26年度と28年度の事業であり、本年度の事業をもってえがおの里の設備更新は終了する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	<input type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	施設の設備更新であり、類似事業は無い。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	平成26年度と28年度の事業であり、本年度の事業をもってえがおの里の設備更新は終了する。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	平成26年度と28年度の事業であり、本年度の事業をもってえがおの里の設備更新は終了する。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	全ての高齢者が対象となり得る施設の整備である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価の総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	営繕事業については、専門的な知識が必要であることから建築住宅課で代理執行をお願いし、効率的な事業執行を行った。 平成26年度と28年度の事業であり、本年度の事業をもってえがおの里の設備更新は終了する。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
指定管理制度により運営を委託しているが、法人への譲渡を検討しており、譲渡するまでに市が実施すべき修繕工事として、空調・給湯設備更新工事及び定員増に対応した厨房改修工事を実施した。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			